

質問項目を選択	科目名	問題集or解説書	問題番号	選択肢番号(該当する)	問い合わせ詳細内容	回答	コメント
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)	問題集, 解説集	問23	選択肢2	児童相談所に配置されるのは知的障害福祉司ではなく、児童福祉司ではないか。知的障害の判定については児童福祉法第十二条の三、児童福祉司については同法第十三条を参照。 そもそも任用資格なのに、その特をはみ出してる気がする。	知的障害福祉司は、ご質問のように、知的障害者更生相談所への配置が職務付けられている一方で、児童相談所への配置については法律で義務付けられておらず。したがって、選択肢2は不適切な選択肢となります。大変申し訳ございませんでした。 選択肢、解答とともに正しい記載は以下のとおりです。 訂正 2 知的障害福祉司は 児童相談所 に配置され、療育手帳の交付に関わる支援を行う。 ×2 知的障害福祉司は、 知的障害者更生相談所(必置)及び福祉事務所(任意) に配置され、知的障害の判定、療育手帳の交付に関わる支援、発達・生活に関する相談援助業務を行う。	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)	問題集, 解説集	問36	選択肢5(正答)	傷病手当金に関する件です 傷病手当金を受けるためには「被用者保険」加入者である必要があります。(国民健康保険加入では対象外) 設問である事例では、対象者Aさんが、2事業所で、それぞれ派遣とパートで勤務している記述はありますが、これだけで、「被用者保険」加入と断定はできないのかと考えます。 まず、それぞれの事業者自身が被用者保険の加入要件を満たしているのか、およびAさん自身が、被用者保険加入要件を満たしている勤務なのかは読み取れません。 よって、正答を5とする根拠をご教示いただきたく、お願いいたします。	派遣社員やパートタイムであっても、条件を満たす場合は社会保険加入の義務があります。 Aさんは、昼間は派遣での清掃業、夜間は全国展開をしている飲食チェーン店でのパートで働き始め、4か月が経過しています。この記述から、健康保険の被保険者を示しておりましたが、ご質問にあるように健康保険の被保険者であることをより適切に明示すべきでした。 ご指摘をいただき、ありがとうございます。	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)	問題集, 解説集	問37	選択肢5(正答)	訪問看護に関する設問ですが、正答の選択肢5は「精神保健福祉士が患者と家族への生活の課題について指導することができる」とあります。これには前提として「主治医の指示のもとである必要はないか」と考えます。 つまり、本選択肢の前提に、「主治医の指示」に基づく指導であれば正答だと思われそうですが、本選択肢の「精神保健福祉士は(略)指導することができる」のみの記載では、精神保健福祉士が「良かれと思い自己判断で指導を行う」ことも解釈できると思われます。この場合には、本選択肢は不適切な選択肢になるのではないかと考えます。 よって、本設問の正答を5とすることの根拠をご教示ください。	精神科訪問看護は、 ・精神科を担当する医師からの指示があること ・患者本人または家族の同意を得ていること ・対象となる患者が入院中でないことが条件であり、保健師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士などが実際に患者の自宅などを訪問し、看護や指導を行うことです。 したがって、主治医の指示があることが前提条件となります。 そのため、選択肢に主治医の指示については記載をしていませんでしたが、ご指摘のように、正しくは「医師の指示のもとで、精神保健福祉士が患者と家族へ生活の課題について指導をすることができるとすべきでした。」	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)	問題集, 解説集	問47	選択肢2、3(正答)	障害福祉サービスに関する事例問題です。 本問に関する事例の記載には、「(前略)地域移行の担当ワーカーと相談し、退院後、段階的に障害福祉サービスを利用して(後略)」とあります。 一方、「障害者総合支援法」では、 第5条 「(略)「障害福祉サービス」とは、居宅介護、重度訪問介護、同行支援、行動支援、療養介護、生活介護、短期入所、重度障害者等包括支援、施設入所支援、自立訓練、就労選択支援、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、自立生活援助及び共同生活援助をいい、(後略)」とあります。 この時点で、設問にある「障害福祉サービスを利用して」という点で、選択肢の「通所介護、日常生活自立支援事業、訪問介護」は正答になり得ないのではないかと思います。 また、正答とある3の日常生活自立支援事業(=「日自」)の利用対象者要件には、「理解、判断、意思表示を本人のみで適切に行うのが困難な人」とあります。 事例から、Aさんは「自分も退院して一人暮らししたい」などと話しており、果たして、日自の利用対象になり得るのかも疑問です。 よって、本設問の正答に3があることの根拠をご教示ください。	選択肢3「日常生活自立支援事業」が正答とさせて頂いたことの根拠として、事例におけるAさんが「精神障害を持っている」「公共料金の支払い等に不安を抱えている」等の記述から、同事業の対象者の要件を想起して頂きたいという意図がございました。 しかしながら、ご指摘のように「支払いに不安がある＝判断力不十分」とは限らず、 Aさんの金銭面の不安は、地域移行という環境適応への不安の表出である可能性も排除できません。この選択肢を正答と判断するには、Aさんの判断能力に関して推測のできる記述(例えば、以前に金銭トラブルがあった、判断能力の波が大きい、本人が金銭管理ができないと明確に自覚している、など)があるべきでしたが、それらが不足しており、正確判断のしづらい状態であったかと存じます。 事例文や選択肢が不明瞭なものであった点につきまして、お詫び申し上げます。	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉士)	問題集, 解説集	問3		統合失調症の診断基準について 状況・貴校指定のテキスト(中央出版「精神医学と精神疾患」P99)により学習すると、シュナイダーの1級診断に設問選択肢にある「考想化声」という用語は出現しません。テキストで記載されている用語は「思考化声」とあります。 疑問・試験での正答の選択肢に「考想化声」という用語を用いるのであれば、なぜ、指定テキストで「思考化声」という用語を使用するテキストを使用するのか? 疑念・模擬試験の解答解説では、以上についての解説で、『「思考化声」ともいわれ』という記述があるが、この記載順であれば出題での用語と解説での用語は逆順にすべきではないかと思いますが...?	ご質問いただき、ありがとうございます。 国試での出題表記にあわせて「考想化声」といたしましたが、各社のテキストも参考にしたところ「思考化声」という記載もあることから、解説にその旨を記載させていただきます。	

質問項目を選択	科目名	問題集の解説書	問題番号	選択肢番号(該当する)	問い合わせ詳細内容	回答	コメント
②問題内容	専門科目(精神保健福祉士)	問題集,解説集	問24		ソーシャルワークの領域について、「マクロ、メゾ、ミクロ」のレベルについて (疑問)このレベルの形式的(公式的)な定義とは? (疑義)かなり曖昧な領域ではないかと考えています 特に、「メゾ」と「マクロ」は絡引きが曖昧ではないか? 「何をするのか」であり、「どこに働きかけるか」ではないと思います。 (設問からの例示) 選択肢2 「配偶者からの暴力を受けている被害者の救済制度を地方自治体に働きかける」 選択肢3 「ギャンブル依存症で困っている当事者の自助グループを立ち上げる」 (解釈) ミクロレベル:「本件対象者(となっている人をAさん)のために」地方自治体に制度を働きかける(または自助グループを立ち上げる) メゾレベル:「本件対象者となっているAさん達のために地方自治体に制度を働きかける」(または自助グループを立ち上げる) となるのではないかとつまずき、その活動が「誰のための、何のための」が重要 であり、それが明確にならないと判断できないのでは?というより、そもそもその区分が必要なのかも感じます) 設問では、その「目的、到達点」が曖昧で、「ミクロ」的な要素と「メゾ」的な要素を完全に規定できないと感じます。 ＜要望事項＞ 以上につき、「ミクロ」、「メゾ」「マクロ」レベルの支援定義をご教授いただきたい。	「ご質問ありがとうございます。 「ミクロ、メゾ、マクロ」レベルの支援に関する定義に関して、回答致します。 各社の社会福祉士・精神福祉士のテキストや、国家試験問題、ミクロ～マクロのソーシャルワークに関する論文などを根拠としての回答になる旨をご承知ください。 2007年の社会福祉士及び介護福祉士法が改正され、それ以来社会福祉士の養成教育において、ミクロ～マクロのソーシャルワークという用語は頻繁に用いられるようになりましたが、各レベルに関する公式・公式な定義について、例えば厚生労働省など国内の公的な機関がこのように定義した、というものはなく、各社テキストにおいても、その定義に関する表現は明確に統一されていません。レベルの認識が、研究者によって多少異なるという現状も伺えます。 各社のテキストなどを総合すると、特に国家試験対策としては、最ね以下のような対象の整理をすることで、ご理解頂けると思います。 ・ミクロレベル、主に対人支援による実践。個人や家庭、小集団のニーズ。 ・メゾレベル、組織や地域のレベルの実践。機関やサービスの運営、地域福祉活動などのニーズ。 ・マクロレベル、制度や政策の策定や計画実施など国レベル(ただし、直近の社会福祉士国試では、地方自治体行政レベルへの働きかけがマクロレベルとされているので、国だけでなく行政であれば地方自治体も含むと考えた方が良い)。 ミクロ～マクロレベルのソーシャルワークの研究においては、「どの領域に働きかけるか」「誰が誰を対象とするか」「どんな人(組織)と連携するか」などの視点が見られます。 これまでの国試出題などを見ますと「ソーシャルワーカーがどの領域に働きかけるか」で判断するのが比較的確解の判断がしやすいのではないかと思います。 これらを踏まえまして、問題24については、 選択肢3「配偶者からの暴力を受けている被害者の救済制度を地方自治体に働きかける」は、DV被害を受けている人々に対する支援の施策や制度の拡充、あるいは新規の創設などについて地方自治体(都道府県や市町村)に働きかけるといように解されます。これは、「どの領域に働きかけるか」で考えますと、これまでの国試出題に鑑みてもマクロレベルのソーシャルワークと考えたいです。 選択肢4「ギャンブル依存症で困っている当事者の自助グループを立ち上げる」は、ソーシャルワーカーが、同じ課題を持つ人々が当事者同士でサポートし合い課題解決を行うための自助グループの立ち上げ支援を行った、と解されます。 クライアント個人への対人支援ではなく、自助グループという組織の形成のための支援となるためにメゾレベルの支援を行ったと判断できますが、同時に、上に挙げた定義を参考にクライアントをこの場合小グループを含むとすれば、ミクロレベルの支援という判断を排除できない側面はございます。ご指摘頂いたとおり、実務領域でどう判断するかについて、記述において情報が足りず、曖昧な選択肢であったと思います。 各レベルはそれぞれに完全に独立している訳ではなく連続性がありますので、解答判断を行うためにはさらに明瞭な文言、表現である必要がございます。改めて、ご指摘を今後に活かして参ります。」	
					統合失調症の診断基準について 状況・貴校指定のテキスト(中央出版「精神医学と精神疾患」P99)により学習すると、シュナイダーの1線診断に設問選択肢にある「思考化声」という用語は出現しません。テキストで記載されている用語は「思考化声」とあります。 疑問:試験での正答の選択肢に「思考化声」という用語を用いるのであれば、なぜ、指定テキストで「思考化声」という用語を使用するテキストを使用するのか? 疑念:模擬試験の解答解説では、以上についての解説で、『「思考化声」ともいわれ』という記述があるが、この記載順であれば出題での用語と解説での用語は逆順にすべきではないかと思いますが、? ＜要望事項＞ 以上につき、本試験における本問題の出題意図、並びにテキスト選定理由を明示いただきたい。 正答選択肢4について 本事例の記載事項だけで時系列的に整理すると、 就B利用→就B職員変更→課題の見直しである。よって、この時点で「相談支援事業所」の関与があるか否かを判断できない。つまり、この時点で相談支援事業所が、「計画相談支援」に携わっているか否かを断定できない。 したがって、いきなり「継続サービス支援事業」の利用ということに直結できるか否かも判断できない。 つまり、B精神保健福祉士が、「本件利用者の計画相談支援の相談支援専門員、もしくはそれに付随する者」なのか判然としない。仮に、本件利用者が「計画相談支援」の支給決定を受け、B精神保健福祉士が所属する計画相談支援事業所による計画相談支援の支給決定を受けていれば正答である。一方で、計画相談給付費の支給決定を受けていない事業所のB精神福祉士に相談しただけの場合、その状態だとB精神保健福祉士が所属する事業所での「継続サービス利用支援」、または「計画相談支援事業所の継続サービス利用支援」を受けられるとは限らない。(セルフプランの場合には、「サービス利用支援」から始める必要があるのでは?) したがって、状況によって本選択肢は正解にならない。 ＜要望事項＞ 本設問の正答を4とするのは、前提条件が足りないと感じるが、貴校の見解をお伺いしたい。	ご質問いただき、ありがとうございます。 国試での出題表記にあわせ「思考化声」といいたしましたが、各社のテキストも参考にしたところ「思考化声」という記述もあることから、解説にその旨を記載させていただきました。 ※質問にあるテキスト選定理由については触れておりません。ご了承ください。	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉士)	問題集,解説集	問3				
②問題内容	専門科目(精神保健福祉士)	問題集,解説集	問28	選択肢4		事例文、及び正答選択肢を再検討させて頂きました。 本問においてB精神保健福祉士の立場が不明確であり、Aさんの「サービス利用支援」給付の経緯が不明なのには「継続サービス利用支援」の提案が適切かどうか、判断できないとのことであるかと存じます。 この点の記載が確かに事例文中に於ており、正誤判断の前提条件が足りない状態でした。 また、この事例文で、どんな課題が生じているとAさんや母親やBが捉え、Aさんのニーズは何であるかについて、「通所できなくなった」「カップ種が増えた」事実のつながりやAさん談だけでは曖昧で整理されていないこと、その曖昧な課題へのこの時点の対応として、(事業所との連携対応や個別支援計画などを飛ばして)「継続サービス利用支援」の提案が最適とするには、選択肢文にも不明瞭さがあつたと考えます。 事例、及び選択肢の双方が不明瞭であった点につきまして、お詫び申し上げます。	

質問項目を選択！ 科目名	問題集/解説書	問題番号	選択肢番号(該当する4)	問い合わせ詳細内容	回答	コメント
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)：問題集,解説集	問35		<p>精神保健福祉法の入院制度についての事例問題</p> <p>本事例では、最終的に「本人が承諾した」任意入院で正答。仮に、本事例で「本人が承諾しなかった」という仮定での確認です。本人が承諾しなかったため、「医療保護入院、応急入院、措置入院、緊急措置入院」による入院が選択として残ります。本件において、任意入院以外の場合を考えた場合、</p> <p>×<医療保護入院>：家族等の同意が必要 ただし、母親は認知症で(判断と)意思表示不能、Bさん(娘)は「家族等」(「配偶者、親権者、扶養義務者、後見人・保佐人」)に該当しない。ただし、「市町村長同意」での医療保護入院は可能</p> <p>×<応急入院>：家族等が、母親かBさん以外に不明なため不可。</p> <p><措置入院/緊急措置入院>：医師が「自殺未遂の可能性が高い」と自傷他害リスクを評価</p> <p><質問事項>：以上のように状況を整理すると、本事案において本人が入院を拒否した場合には、指定医2名の共通診断があれば、「措置入院」(または指定医1名による「緊急措置入院」になるという認識で良いでしょうか？ また、仮に自傷他害のリスクがない場合、指定医が入院の必要を認めているが同意家族要件を満たすことができないため、「市町村長同意による医療保護入院」または「応急入院」となるという解釈で良いでしょうか？</p>	<p>医療保護入院の同意ができる「家族等」は、配偶者、父母、祖父母等、子・孫等、兄弟姉妹、後見人又は保佐人、家庭裁判所が選任した扶養義務者となります。</p> <p>本事例では、Aさん(本人)が入院を承諾しなかった場合、娘のBさんが同意すれば医療保護入院が可能となります。</p> <p>娘のBさんが未成年であった場合は、市町村長同意による医療保護入院となる可能性が高いです。</p> <p>なお、応急入院は誰の同意もとれない状態で入院ですので、例えば、Aさん(本人)が入院を承諾せず、Bさんと連絡が取れない等で同意が得られない状況であれば、Bさんの同意または市町村長の同意による医療保護入院に至るまでの間に、応急入院が選択されることが考えられます。応急入院で入院となった場合、72時間(または12時間)を超える場合は、他の入院形態(医療保護入院や任意入院)に切り換えることがあります。</p>	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)：問題集,解説集	問23	選択肢2	<p>回答書には「知的障害者福祉司は知的障害者更生相談所及び児童相談所に配置され～」と書いてありますが、知的障害者福祉司は児童相談所に配置されていないのではないのでしょうか。ご確認のほど、お願いします。</p>	<p>知的障害者福祉司は、ご質問のように、知的障害者更生相談所への配置が義務付けられている一方で、児童相談所への配置については法律で義務付けられておらず、したがって、選択肢2は不適切な選択肢となります。大変申し訳ございませんでした。選択肢、解答とともに正しい記載は以下のとおりです。</p> <p>訂正 2 知的障害者福祉司は児童相談所に配置され、療育手帳の交付に関わる支援を行う。</p>	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)：問題集,解説集	問36	選択肢5	<p>私は、社会保険労務士の登録はしてませんが、合格したものです。この枝のケースや表現だと、社会保険労務士(社労士法)違反となる可能性が極めて高いです。</p> <p>まず、事例の内容には、Aさんが「屋は派遣での清掃業、夜はパートで働いている」旨が書いてあり、心労弊つて倒れて精神科に入院するという流れで、問36に当たりますが、一切、Aさんが「健康保険」に加入している文言がそもそも文面にもありません。</p> <p>いわゆる「派遣パート」の場合は、そもそも健保に加入していないのだから傷病手当金請求することすらできません。これでは判断できません。</p> <p>仮に、Aさんが健康保険に加入していたと仮定したとしても、在籍の有無や在籍期間が事例にいつい記されていないので、判断できません。健康保険法第104条(資格喪失後の給付)の要件を推察するような文が、事例にあがっていないため、入院時に傷病手当金が請求できるかどうかあやしいところですよ。</p> <p>この状況から、「傷病手当金の申請をしましょう」ということ時点、そもそも情報が不足しており、誤案内です。仮に、精神保健福祉士の倫理や善意として正しいと主張したとしても、手続き代理と受け止められない発言なので、社会保険労務士法(社労士法)違反となる可能性が極めて高いです。</p> <p>この枝を模試で設問で⑥のままにするのは、かなりまずいとおもいます。</p> <p>よって、この回答には疑義があります。</p>	<p>派遣社員やパートタイムであっても、条件を満たす場合は社会保険加入の義務があります。</p> <p>Aさんは、昼間は派遣での清掃業、夜間は全国展開をしている飲食チェーン店でのパートで働き始め、4か月が経過しています。この記述から、健康保険の被保険者を示してありますが、ご質問にあるように健康保険の被保険者であることをより適切に明示すべきでした。</p> <p>ご指摘をいただき、ありがとうございます。</p>	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)：問題集,解説集	問44	4	<p>精神保健参与員は非常勤の国家公務員である。はっかゝ。中央法規ワークブック専門科目のp60には、地方裁判所の特別職であり、非常勤の国家公務員という位置付けである、との記載がありました。</p>	<p>不明瞭な問題・解説になっており大変申し訳ございませんでした。</p> <p>正しくは、精神保健参与員は、特別職の国家公務員であり、非常勤の裁判所職員となります。</p>	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)：問題集	35	5	<p>この問題で、当事者とされている方の保険種別が健康保険の被保険者であることが明確に記されてもいないので、この事例の問題だけだと、傷病手当金の案内は一概にできないので、誤りになるのではないのでしょうか？</p> <p>私も心配したので、念のために、昨日先輩のケースワーカーの方にこれを見せて確認したらこんなこと言われました。</p> <p>他職種連携をとって保険種別の事実確認すら怠った上でこんなことを迂闊に提案したら、このAさんが絶望して自殺するだろうし、病院側の責任問題になるから病院以外のところで追及されかねないことだよ。これを、精神保健福祉士を目指す方向けに出題するのは、あまり実務わからない方が作られてる方なのではないでしょうか？かなりまずい話だね。</p> <p>と言ってました。</p>	<p>派遣社員やパートタイムであっても、条件を満たす場合は社会保険加入の義務があります。</p> <p>Aさんは、昼間は派遣での清掃業、夜間は全国展開をしている飲食チェーン店でのパートで働き始め、4か月が経過しています。この記述から、健康保険の被保険者を示してありますが、ご質問にあるように健康保険の被保険者であることをより適切に明示すべきでした。</p> <p>ご指摘をいただき、ありがとうございます。</p>	
②問題内容	共通科目	問題集,解説集	49	<p>3 いろいろな協議会のなかで、どの協議会なのか設問のみで特定し断定できない。障害福祉サービスの自立支援協議会も協議会と呼ぶようになったから、それもありえる。よって不完全だから誤りではないか。</p>	<p>「障害者総合支援法」第89条第9項には、市町村は、第八十九条の三第三項に規定する協議会を設置したときは、市町村障害福祉計画を定め、又は変更しようとする場合において、あらかじめ、当該協議会の意見を聴くよう努めなければならない。と規定されます。</p> <p>自立支援協議会は、上記した現「協議会」と同一の協議体です。</p> <p>厚生労働省の資料では、(自立支援)協議会と記述されることがあります。</p> <p>https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001493985.pdf</p> <p>貴重なご意見をお寄せくださり、ありがとうございます。</p>	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)：問題集,解説集	23	2	<p>法根拠上、配置されているのかわからないのだから誤りではないか。</p> <p>尚、中央法規のテキストや受験ワークブックには、知的障害者更生相談所必須配置、福祉事務所任意配置されていますが、児童相談所には一切配置されている旨は書いてませんでした。</p>	<p>知的障害者福祉司は、ご質問のように、知的障害者更生相談所への配置が義務付けられている一方で、児童相談所への配置については法律で義務付けられておらず、したがって、選択肢2は不適切な選択肢となります。大変申し訳ございませんでした。選択肢、解答とともに正しい記載は以下のとおりです。</p> <p>訂正 2 知的障害者福祉司は児童相談所に配置され、療育手帳の交付に関わる支援を行う。</p>	
②問題内容	専門科目(精神保健福祉)：問題集,解説集	36	5	<p>事例の中に健康保険の被保険者だとハッキリ明記されてないから誤りだと思います。</p> <p>医療従事者だから保険証確認できる立場で危機的アローチの状況ならば、事実確認なく提案して、実は国保だったらすみです。</p>	<p>×2 知的障害者福祉司は、知的障害者更生相談所(必置)及び福祉事務所(任意)に配置され、知的障害の判定、療育手帳の交付に関わる支援、発達・生活に関する相談援助業務を行う。</p> <p>派遣社員やパートタイムであっても、条件を満たす場合は社会保険加入の義務があります。</p> <p>Aさんは、昼間は派遣での清掃業、夜間は全国展開をしている飲食チェーン店でのパートで働き始め、4か月が経過しています。この記述から、健康保険の被保険者を示してありますが、ご質問にあるように健康保険の被保険者であることをより適切に明示すべきでした。</p> <p>ご指摘をいただき、ありがとうございます。</p>	

